

三田駅前 C ブロック地区公益的施設に関する サウンディング型市場調査結果の公表について

三田駅前 C ブロック地区公益的施設に関するサウンディング調査を実施いたしましたので、その結果を公表します。

なお、本調査におきましては、参加事業者から公表内容以外にも多くの貴重なご意見・ご提案をいただきましたが、そのアイデアやノウハウ等の保護の観点から、概要のみの公開とさせていただきます。

この度の調査へご参加いただきました事業者の皆さまへ、深く感謝申し上げます。

1 調査概要

(1) サウンディング調査実施の目的

三田駅前 C ブロック地区では、まちの交流拠点となる商業・業務施設及び駅近接の良質な住宅などの整備により、都市機能を複合的に集積し、三田市の玄関口における市街地再開発事業の集大成にふさわしい整備を進めます。

本調査では、民間事業者の皆さんとの対話を通して、施設の設置目的を具現化するための方策、市場性の有無や実現可能性を把握するとともに、課題の抽出や事業効果の向上等を目的とし、サウンディング型市場調査を実施しました。

(2) 本調査の経緯

実施要領の公表	令和 6 年 2 月 28 日 (水)
質問の受付	令和 6 年 3 月 18 日 (月) 17 時まで
質問への回答	令和 6 年 3 月 22 日 (金) まで
サウンディングの参加申込期限	令和 6 年 3 月 29 日 (金) 17 時まで
提案概要書等の提出期限	令和 6 年 4 月 11 日 (木) 17 時まで
サウンディング (対話) の実施	令和 6 年 4 月 19 日 (金)
実施結果概要の公表	令和 6 年 6 月 5 日 (水)

(3) 参加事業者数

2 事業者

2 調査結果概要

各質問項目について、下記の意見がありました。

(1) 公益的施設の方向性について

- ・知育玩具等、既存施設にない設備の設置や際立ったコンテンツを提供することで、新たな訪問機会を増やす。幅広い世代の来訪を促すことで、まちづくり協働センターの機能を補

完するとともに駅前の賑わい創出を目指す。

- ・立地を生かして、誰もが成長したり、自己実現を図ることができる場であるとともに、多様な人の出会いやつながりが生まれる場となり、それぞれが関わり合う中で、これまでにない取り組みを生み出し、挑戦できる機会等を創出することを目指す。

(2) 公益的施設の主な内容について

- ・コワーキングスペース、プログラミング教室・AI 教室などで構成し、魅力ある取り組みをする NPO 等をブース毎に誘致する。そのほかキッズスペースやシェアキッチン、展示スペースを設置する。
- ・スキルアップやリモートワークに活用できるスペース、ミーティングやセミナー等ができるスペース、相互に交流できるスペース、図書等の情報展示スペース、授乳室などで構成する。また、これらを有機的につなげるマネージャーを配置するとともに、子育て中の女性のスキルアップや若者向けの地元企業インターン等のプログラムを用意する。

(3) 考えられる公益的施設の運営形態について

- ・事業者が低額な賃貸借または無償貸付で施設を借り受ける。
- ・事業者が施設の運営や核となる最低限の事業を市から受託しつつ、収益事業にも取り組む。